

# 寅さん歩 その 19

## バーチャルウォークで

## 中山道（東下り）を歩くー1



平野 武宏

年齢の経過や体調の変化で健脚が衰えた先輩のウォーカー達を見てきた寅次郎、自分はまだ先のことだと思っていました。80歳の壁を越え、二度の腹部手術を体験して毎日のリハビリの散歩と称して脚力の復活を夢見ました。

めげそうになる背中を押してくれたのがFWAのHP「YR・四季の道 バーチャルコーナー」でした。毎日の散歩の距離を1コマ2km単位で塗りつぶしながら進む、バーチャルウォークです。

江戸からの東海道五十三次（492km）を147日（1日平均約3.3km）のバーチャルウォークで京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路は中山道をバーチャルウォークで江戸・日本橋へ戻ることになりました。第14代将軍 徳川家茂へのお興入れで皇女和宮ご一行が通った道です。

中山道（東下り）の記録帖作成を八柳修之さんに提案したところ採りあげられました。HPの「YR・四季の道 バーチャルコーナー」に追加されています。

寅次郎、初めて歩く中山道の逆コース（東下り）です。各宿場を紹介しながら、楽しんで歩きます。各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

中山道は江戸・日本橋から武州路、上州路、信濃路、木曾路、美濃路、近江路を通り京都・三条大橋までの百三十五里三十二町（約533.9km）といわれます。

現在の東京都から埼玉県、群馬県、長野県、岐阜県、滋賀県、京都府への道で東海道よりも約40km長い道程です。温暖な太平洋側に行く東海道に比べ、山岳地帯を進むため難所も多く、冬は雪に見舞われる過酷な道でした。

しかし、東海道より川の障害が少ないのが利点とされ、特に女性は中山道を利用することが多かったといわれています。

さあ、京都・三条大橋から近江路（京都府・滋賀県・岐阜県）をスタートです。

ご一緒に京都・三条大橋から江戸・日本橋へ、または江戸・日本橋から京都・三条大橋へのバーチャルウォーク 中山道の旅立ちをお待ちします。

## [京都・三条大橋] 京都府京都市東山区大橋/中京区中島町

最寄駅 京阪本線、市営地下鉄 三条駅

2024年1月28日京都・三条大橋を江戸(543km)へ向かって出発しました。写真下左は歌川広重の浮世絵「京都・三条大橋」です。三条大橋と京都の町並みを描いています。京都を代表する清水寺や八坂の五重塔が見えます。遠景に東山、その先に比叡山を望みます。実際の比叡山位置はもっと左側ですが、広重は京都を代表するものを絵の中心部にまとめる工夫をしています。橋上の人々は京都ならではの風情を感じさせます。写真下右は現代の京都・三条大橋です。



## [大津宿] 滋賀県大津市大津

最寄駅 JR東海道本線 大津駅

2024年2月1日大津宿(京都・三条大橋から12km)に到着しました。琵琶湖の南端にある大津は、京都を目前に北国街道と交わるほか、湖上交通の発着点でもある交通の要衝です。



写真左は歌川広重の浮世絵「大津 走井茶屋」です。大津名物 走井餅の店です。走井の由来となった井戸から水が湧き出ています。荷車に満載の米俵は大消費地 京都が近くなったことを暗示しています。

写真下左は名物うまいものの「走井餅」です。江戸時代、旅人が峠の途中でのどを潤した「走り井」の名水で1764年（明和年間）に走井一郎右衛門が作ったのが始まりの餅です。写真下右は「力餅」です。比叡山延暦寺で力自慢だった弁慶にちなみ、江戸時代から続く餅です。ひきたてのきな粉の香ばしさが味わえます。



写真左は「鮎寿司」で1500年前から伝わるといわれる鮎のなれ寿司は、独特の強烈なおいでお知られますが、最近では製法や保存方法の工夫で、臭みはかつてほどではありません。

**[草津宿]** 滋賀県草津市草津 最寄駅 JR東海道本線 草津駅

2024年2月5日草津宿（京都・三条大橋から26km）に到着しました。草津宿は東海道と中山道の分岐点で琵琶湖の湖南の要衝として栄えました。写真下左は歌川広重の浮世絵「草津名物立場」です。草津名物の「うばがもち」の茶屋の活気あふれる店内と、通りを行き交う旅人らを描くことにより、草津の町の賑わいを感じます。

写真下右は「うばがもち」です。「うばがもち」は信長に滅ぼされた佐々木義賢からその曾孫を託された乳母の福井そのが郷の草津に身を潜めていましたが、養育費を捻出するため餅をつくって街道筋で売ったのが名の由来です。中の餅はたいへん柔らかく、まわりの餡はさらりとした甘さです。



## 【守山宿】 滋賀県守山市守山 最寄駅 JR東海道本線 守山駅

2024年2月7日守山宿（京都・三条大橋から32km）に到着しました。京都から江戸に向かう場合、「京発ち守山泊まり」が一般的だったといわれ、守山宿は最初の宿場としてなかなかの賑わいを見せていました。格子と虫籠窓の美しい町屋（写真下左）が残っています。

延暦年間（782～805年）「比叡山三千坊」といわれる比叡山の僧坊のひとつとして最澄が開山、正確には「比叡山東門院守山寺」の東門院があります。比叡山延暦寺の東門の意で、桓武天皇が「わが山を守り給う寺」との意味で名付けたといわれ、守山の地名の由来との説もあります。写真下右は東門院の仁王門です。



「中山道 守山宿もなか」(写真下左右)を見つけて、いただきました。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝